

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月29日

事業所名: わくわくクラブ茨木校

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	どちらともいえない		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	1	・密にならない様に、利用人数が多い時は、教室を分ける様にしている。	
	2 職員の配置数は適切である	4	0	2	・法令に則った人員配置を満たしている。 ・負担が偏らない様に、朝礼の際に、スケジュールや対応の確認をしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	1	・バリアフリーなのかと問われると難しい部分がある。今後も児童が過ごしやすい環境づくりを心掛ける。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	2	・責任者による個別の面談等を通して職員一人ひとりの目標設定と改善行動の醸成に努めている。 ・コロナ対策でこまめな消毒をしている。 ・教室会議の時間を設けて、意見を出し合っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	2	・スマートフォン、パソコンから回答できるようにし、保護者が回答しやすいように工夫した。	・保護者のご意見を真摯に受け止め、その都度改善を行っている。 ・今後も家での様子、困っている事を聞く。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	3	・毎年公表している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	5	・昨年に引き続き、巡回指導を受けている。	・今後は第三者評価が行える様に検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	0	・法人内において研修を実施し、知識・技術・思考等、多角度から職員の資質向上を図っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	・定期的に虐待やアンガーマネジメントについての研修を受講しています。 ・月一回研修の実施をしている。 ・大阪府主催の研修なども全職員が積極的に参加している。 ・アンガーマネジメント研修や虐待防止研修を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	2	・支援者間で支援会議を定期的に行い、子どもの様子を確認したうえで、保護者とのアセスメント面談を実施している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	4	・事業所内において各種行事ごとに役割分担し、その都度企画立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	2	・教室会議にて、週替わりのイベントを考えている。 ・教室会議内で、それぞれのプログラムの担当者を決め、話し合いながら実行している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	1	・保護者の要望、子どもの様子などを見て、プログラムを考えている。 ・教室会議にて、週替わりのイベントを考えている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	3	・毎週のイベントを決め、楽しみながら療育出来るよう工夫している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	1	・毎日定例で行っている。	・シフトの時間によっては、参加出来ないスタッフもいる為、共有ノートを作成し伝達漏れの無い様に努める。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	2	・休憩後に必ず打ち合わせを行っている。 ・毎日時間を決めて、打ち合わせをしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	4	・休みのスタッフにもわかるように、回覧板を活用し日報を上げている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	1	・定期的実践している。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	3	・児童の特性に応じて組み合わせている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月29日

事業所名: わくわくクラブ茨木校

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	0	3	・事業所ごとに必要性に応じて適切な担当者を決め、参画してい る。基本は児発管が参画している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6	0	1	・保護者の要望に応じて学校に足を運んでいる。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	4	1	2	・医療的ケアが必要な児童が在籍する場合は主治医等と連絡体 制を整える。管理職から全スタッフへ情報が行き渡る仕組みが必 要。* 現状、医療的ケアが必要な児童の利用無し。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	0	1	6	・保護者の要望に応じて足を運び、共有している。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	3	0	4	・現状該当児がいない。今後は全スタッフがその機会を得られる 様に環境を整えていく。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	6	0	1	・先日、教室の職員全員でアンガーマネジメントについての研修を受講した。 ・巡回指導を活用している。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	3	・現状取り組めていない。		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	0	5	・積極的に参加している。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5	0	2	・毎日、保護者とのコミュニケーションを図りながら信頼関係の構築に努 めている。		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	0	1	6	・トレーニングに及ばないが、保護 者とのコミュニケーションの中で、 適宜取り入れている。	・認識が統一出来ていないスタッフがい る為、要研修。		
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	0	1	・契約時に説明を徹底している。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	6	0	1	・定期的に情報交換する場を設け、悩み等の聞きとりケアに努めてい る。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	3	1	3	・定期的に情報交換する場を設け、保護者同士の横のつながりを 醸成出来る様に努めている。		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応している	5	0	2	・相談や申し入れには可及的速やかに対応している。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	0	2	・ホームページに活動内容を毎週アップしている。		
	35	個人情報に十分注意している	6	0	1	・以前は児発療育時に、放デイ利用児童のネームマグネットをホワイト ボードに貼っていたことがありましたが、児発療育終了後に貼るようにし た。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	2	・特性に応じて絵カードや PEGSを用いている。	・基本的事項と考え配慮しているが、考えが 統一出来ていないスタッフがいる為、要研 修。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	5	1	・十分に出来ているとは言えない。今後は地域に根差した事業所として 発信力を高めていく。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月29日

事業所名: わくわくクラブ茨木校

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	5	0	2	・定期的に避難訓練や研修を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	0	1	・定期的に週替わりのイベントとして、避難訓練や防災ウィークを実施していま す。 ・災害の時の知識やライフハック、実際の避難などを行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	5	0	2	・法人内外の研修へ適切な人員が参加し、職員同士の情報共有 に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	4	0	3	・現状該当児童がいない。必要に応じて保護者への説明を図って いるが、十分とは言えない。今後は契約時における説明を徹底 していく。それと同時にスタッフにも同じように研修をしていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	5	0	2	・医師の指示書は貰っていないが、問合せ、体験、イベント応募に必 ず確認し、スタッフ間で共有している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	4	0	3	・作成及び共有は常時行っている。	